

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス こども通所サービス にじいるプラス		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に送迎をさせていただくことにより、密に情報を共有することができる。	送迎時に、困りごとや聞きたいことを気軽に話せるように、職員から声をかけるようにしている。	どの職員でも話が聞けるように、職員の傾聴や会話のスキルアップに取り組んでいく。 定期的なモニタリングだけでなく、必要に応じて相談の機会を随時設けていく。
2	運動プログラムに、専門の資格を取得した職員が担当している。	【運動：親子】 ・「触覚」「平衡感覚」「固有感覚」をバランスよく使うことができるように、遊びや道具を使いながら、親子で楽しく活動している。  【運動：幼児】 ・体幹を身につけるため、粗大運動で基礎的な身体の使い方を楽しみながら学べるように工夫している。	職員全員が活動内容をよく把握して、支援を提供できるように心掛けていく。
3	就園前・就学前など、ステージに合わせた保護者会を開催している。	就園前・就学前など、ステージに合わせた保護者会を開催し、先輩保護者の経験談などを聞ける機会を設けている。	就園・就学に必要な情報をさらに多く提供できるよう、情報収集に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの関わりが少ない。	特定の園とは交流しているが、他の施設等との時間の連絡調整がうまくできなかった。	他の施設と連携していけるように取り組んでいく。
2	H Pの活用	H Pに携わる人員の欠如	H Pをリニューアルし、行事予定など保護者が必要とする情報を、毎月更新していく。
3	非常時の対応についての周知が図れていない。	年4回の避難訓練を行ったり、非常時の対応マニュアルを、自由に見れるよう掲示しているが、周知しきれていない。	H Pに、避難訓練の様子や非常時の対応マニュアルを載せる。